

つねに時代の先へ新技術と新発想でお応えいたします!

実践に強い!貫入性能No.1『e-pile next』

沖縄県 瀬底島で採用されました



工事名	某別荘・お御堂新築工事
施工地	沖縄県国頭郡本部町
用途	鉄筋コンクリート造

杭の種類

φ267.4mm
 Dw650mm
 L=14.2m 9set



本物件は、離島でありながら車で気軽に立ち寄れる美しき島『瀬底島(せそこじま)』に建設される別荘・お御堂新築工事の杭基礎工事です。打設地盤の構成は表層からGL-14m付近まではシルト混じりの砂礫で平均N値は40以上を示しているが、所々低い値を記録し、バツキがあることから深での安定したN値50を超える石灰岩を支持層とし、この深度までの確実な打ち込みが課題となりました。e-pile next工法の抜群の貫入性能と地盤を熟知している地元施工業者様の豊富な経験とで無事に計画した支持層まで打設し、完工することができました。元請様には搬入路の整備・養生等ご協力いただき、安全且つ工期内に工事を完了することができました。
☆ご購入いただき、誠に有り難うございました。

e-pile next

国土交通省大臣認定工法

公共土木・公共建築での活用拡大
 国土交通省「NETIS」

登録番号: KT-160071-A

- 国土交通大臣認定
TACP-0483 砂質地盤(礫質地盤含む)
TACP-0484 粘土質地盤
- 日本建築センター 基礎評定(引抜支持力)
BCJ評定-FD0540-01 砂質地盤
BCJ評定-FD0541-01 礫質地盤
BCJ評定-FD0542-01 粘土質地盤
- 日本環境協会
エコマーク認定 08 131022号

全ての鍵は杭先端にあり



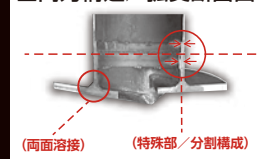
建築・土木・鉄道、さまざまな場面で活躍しております。

全ての鍵は杭先端にあり

杭基礎は建物荷重を支持地盤へ伝達させる最も重要な役割であり、故に、杭先端掘削部の貫入(掘削)性、変位・変形・破断などを発生させない高い性能が要求されます。

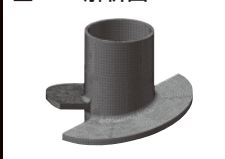
- 貫入性の問題を・・・『**変型穴**』により解決しました。
- 掘削変形の問題を・・・『**特殊部**』により解決しました。
- コストの問題を・・・『**自社施工**』により解決しました。

■高力構造/掘削断面図



杭本体 特殊部(厚肉材)
 (両面溶接) (特殊部/分割構成)

■FEM解析図



e-pile

検索

■本社
 〒252-0134
 神奈川県相模原市緑区下九沢 1507-5
 TEL.042-762-4739 FAX.042-762-8971

■本店/経理室
 〒252-0134 神奈川県相模原市緑区下九沢 1509-4
 TEL.042-764-4128 FAX.042-762-9593

■東京営業所
 〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷 1-1-2
 朝日生命幡ヶ谷ビル 6階
 TEL.03-3376-0123 FAX.03-3376-0124

■相模原機材センター
 〒252-0101 神奈川県相模原市緑区町屋 1-4-37
 TEL.042-851-2681 FAX.042-851-2682



「平成29年度住宅・建築物技術高度化事業」の提案募集の開始について

国土交通省は、本日より住宅・建築物技術高度化事業について次のとおり提案募集を開始します。応募締切は、6月22日(木)までです。本事業は、住宅建築行政が直面する下記の3つの分野に関する先導的な技術開発に対して、国が当該技術開発に要する費用の一部を補助するものです。

- 1 住宅等における環境対策や健康向上に資する技術開発
- 2 住宅等におけるストック活用、長寿命化対策に資する技術開発
- 3 住宅等における防災性向上や安全対策に資する技術開発

【募集概要】

- 応募期間** 平成29年5月22日(月)～平成29年6月22日(木)※必着
- 応募者** 共同技術開発契約を締結して技術開発を行おうとする者として。(単独での応募、国及び地方公共団体の応募はできません。)その他の応募要件は募集要領をご確認ください。
- 補助金の額** 技術開発に要する費用の1/2以内(限度額:国費5,000万円/年・件、3年以内)
- 応募方法** 応募書類を郵送により提出。提出方法の詳細は募集要領を参照ください。
- 採択の決定** 応募提案の審査は、一般社団法人住宅性能評価・表示協会が設置する学識経験者からなる審査委員会において行われます。審査委員会による審査の結果を踏まえ、国土交通省が採択を決定し、応募者に通知します。採択の決定は8月中旬頃を予定しています。



※詳細は国土交通省HPをご覧ください。

ワンポイント 健康コラム

低気圧による頭痛の特徴や原因

低気圧

そろそろ梅雨入りになりますね。雨の日は何だか頭が痛くなる…そういった症状の方も多いと思います。その原因は「低気圧」なのです。今回は低気圧による頭痛の特徴や原因などについてご紹介します。

◆特徴◆

低気圧による頭痛には、「緊張型頭痛」「片頭痛」「後頭神経痛」があります。全てストレスや身体の変調、気圧の変化が原因として発症するといわれています。

- ◆緊張型頭痛 頭全体が締め付けられるような重い痛みが特徴。
- ◆片頭痛 脈打つようなズキンズキンとした痛みが特徴。
- ◆後頭神経痛 吐き気はなく、ズキズキとした痛みがあるものの脈のドクドクとは一致しない。

◆原因◆

低気圧による血圧低下、さらに急激な温度変化が生じること、体内の酸素濃度も低くなり血管が拡張して頭痛が発症します。それ以外にも脳や血管、神経が圧迫されることが原因とも言われています。

治療・対策

◆無理をしないで休む

頭痛が起きたときは、なるべく安静にすることが大切です。少し横になったり、可能であれば仮眠を取ったりするなどして休みましょう。

◆身体を温め、リラックスする

低気圧により普段から頭痛持ちの人は更に発作を引き起こすこともあります。首や肩など緊張で硬くなった筋肉は、温めてマッサージすると痛みが和らぎます。お風呂に入りながらゆっくりとマッサージすれば、筋肉だけでなくリラックス効果も得られます。身体と心の両方をリラックスさせることが大切です。

◆軽い運動やストレッチをする

運動をすることで筋肉がほぐれ血流がよくなり、頭痛の改善にもつながります。また、ほどよい疲労を感じることで質のよい睡眠にもつながり、自律神経も安定します。悪天候により屋外に出られない場合でも、家の中でストレッチやヨガをするなどして、頭痛を軽減することが期待できます。



経理マンが行く

夏至

夏至とは昼の長さが一年で最も長い日、ということを知っているという方も多いと思いますが、昼が一年で一番長い日、って一体?今回は夏至について調べてみましたのでご紹介したいと思います。

学術的な意味での夏至は、「夏至点」という点を太陽が通過する瞬間の事を指します。簡単に説明すると、太陽が地球上を通る線があり、それを「黄道」と言います。その黄道と、赤道上のラインとが一番離れて通過する地点というものがあり、それが「夏至点」といいます。この夏至点を通過する瞬間が「夏至」であり、通過する日を「夏至の日」と言います。

2017年の夏至の日は6月21日です。

昔は1年の丁度半分になる日が夏至と定められていましたが、この日前後が夏至となります。

一方、一年で昼が最も短い日を冬至と言いますが、東京で昼時間の長さを比べると夏至と冬至では5時間もの差があるそうです。

昼が長いということは、それだけ太陽が長い時間出ているということになり、当然気温が高くなる気がしますが、日本の場合、夏至が梅雨の時期と重なっているケースが多く、実はそれほど暑さを意識することはありません。

夏至の前、雨が降って全体の気温が高くない状態が続く日本において、夏至の日に太陽高度がピークに達しても、地表や空気が温められていないためそれほど気温の高さを感じないのです。



夏至の風習では関西では夏至にタコを食べますが、関東では新小麦を使って焼き餅を作り、神様にお供えする風習があります。また、日本よりも太陽が出る時間が短いヨーロッパでは、夏至の日には太陽に感謝する祭が多く開催されます。フランスでは、夏至恒例「音楽の祭日」があり、あちこちの街中が音楽で満たされるそうです。また夏至は、恋人と巡り会える日という言い伝えが、ヨーロッパの多くの国に伝わっており、愛の象徴の日ともされてるようです。

冬至にくらべて夏至の風習などはあまり知られていませんが、調べてみると色々なことがわかりました。

参考サイト: 気になること、知識の泉

暑さはこれからが本格的です。くれぐれもお体を大切に。

